

LIXIL



みんなにキレイを プロジェクト



世界中にトイレと手洗いを

MAKE A SPLASH!

LIXIL
SUPPORTS
unicef 

ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません
写真の子どもはユニセフの支援事業による受益者ではありません

SDGsおよび衛生課題について

SDGsとは？

2030年までに持続可能でより良い世界を実現するために設定された17のゴール・169のターゲットからなる国際目標です。

「みんなにキレイをプロジェクト」が貢献できるSDGsの目標



すべての人に
健康と福祉を



ジェンダー
平等を実現する



安全な水と
トイレを世界中に



産業と技術革新の
基盤を作る



パートナーシップを
通じて目標を達成する

衛生課題について

安全で衛生的なトイレを利用できない人

約17億人

日常的に屋外で排泄をしている人

約4.9億人

家庭で手洗い場や水道、石鹸などを利用できない人

約23億人

下痢性疾患で命を落とす5歳未満の子ども

1日約700人※

* 2021年10月時点

目標6「安全な水とトイレを世界中に」は進捗が遅れており、達成には今の4倍の速さで取り組むことが求められています。目標6には、安全な飲み水のアクセスだけではなく、「衛生課題」という重要な課題も含まれています。

衛生課題は目標6以外にも様々な社会課題、SDGs目標につながっています。例えば、安全で衛生的なトイレの不足は、女性や子どもに対して特に危険をもたらします。人目につかない場所まで用を足しにいく途中で、性的暴行やいやがらせを受けるケースが後を絶ちません。また、学校に清潔なトイレがないことは、初潮を迎えた女子生徒が通学をあきらめざるを得ない原因として指摘されており、衛生問題は男女の教育格差にもつながります。



SDGsの達成への貢献に向けたLIXILの取り組み

LIXILの姿勢と取り組み

LIXILは「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」を存在意義（LIXIL's Purpose）としています。私たちは、専門性と事業規模を活かしたコーポレートレスポンスビリティ活動を通じてSDGsに貢献しています。

CR戦略の優先課題「グローバルな衛生課題の解決」では、トイレや水栓などの水まわりの技術とノウハウを用い、「2025年までに1億人の衛生環境を改善する」ことを目指しています。

2017年より安全で衛生的なトイレの開発と提供、共に課題に取り組むための国際機関とのパートナーシップ、お客さまや従業員の支援を通じ、現在までに約3,500万人の衛生環境の改善に貢献してきました。

開発途上国向け簡易式 トイレシステム「SATO」ブランド



世界では上下水道の整備が遅れ、日本で広く使われている水洗トイレの設置が難しい地域が多くあります。このような地域の人びとに安全で衛生的なトイレ環境を提供するのが、開発途上国向けトイレシステム「SATO」ブランドです。

SATOのトイレは安価で壊れにくく、設置が容易で、少量の水で洗浄が可能です。排泄物を流すときに開くカウンターウエイト式の開閉弁がハエなどの虫による病原菌の媒介や悪臭を抑える設計が特長で、子どもや高齢者、障がいのある方でも安心・安全に使用可能で、国や地域によって異なるニーズに応える幅広い製品を開発しており、現在では45カ国以上で利用され約650万台を出荷しています。（2022年6月現在、SATOブランド全体出荷数）

目標

3

目標

6

目標

17



手洗いステーション 「SATO Tap」の誕生

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大をきっかけにこまめな手洗いの重要性が叫ばれています。LIXIL はそのような感染症の予防に有効な手洗いの普及を目指し、水道設備のない家庭でも使用可能な安価な手洗いステーション「SATO Tap」を開発しました。パンデミック発生のわずか2カ月後に生産を開始した「SATO Tap」は現在、インドやタンザニアの家庭で使われています。



地域の人びとの参加で拡大する SATOソーシャルビジネス

SATO 事業は開発途上国で Make（生産）Sell（販売）Use（使用）を確立・推進することで、「現地に根差したソーシャルビジネス」を展開しています。地域に暮らす人びとと自身が生産、販売、設置、メンテナンスをすることで雇用が生まれ、また、商品が安価に入手できます。多くの人に継続的に利用してもらい、継続的な衛生環境の改善に貢献しています。

ユニセフとのパートナーシップ 「MAKE A SPLASH!」

LIXIL とユニセフは、連携して衛生環境の継続的な改善に取り組むグローバルパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」を2018年に締結しています。共に衛生環境の重要性に関する理解促進・行動変容のためのコミュニケーションや共同提言を行い、両者の強みを活かした活動を展開しています。ユニセフは途上国で地域コミュニティを動員し、基本的なトイレや効果的な手洗い習慣の普及と衛生需要の喚起を推進し、LIXIL は実用性のある SATO ブランド製品を通じて地域の人びとの需要に応え、トイレの設置をする職人の職業訓練を行うなど、持続的な衛生市場の確立や発展を目指すものです。

目標

3

目標

6

目標

9

目標

17



「MAKE A SPLASH!」では
これまで290万人の衛生環境を
改善してきました。

エチオピア、ケニア、タンザニア
での3年の活動を経て、2021
年には新たにインド、インドネ
シア、ナイジェリアへ活動を拡
大しています。



ケニアのダンカンさんは、小学
校で「SATO」が設置されたこと
で、臭いもなく快適に安心して
トイレを使用できるようになり
ました。



ケニアのエスターさんはトイレ
設置の職業訓練を通じて、施工
職人として活躍しています。彼
女の暮らす地域で450台の安全
で衛生的なトイレの設置に貢献
しました。



**MAKE A
SPLASH!**

LIXIL
SUPPORTS
unicef

ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません

みんなにキレイをプロジェクト



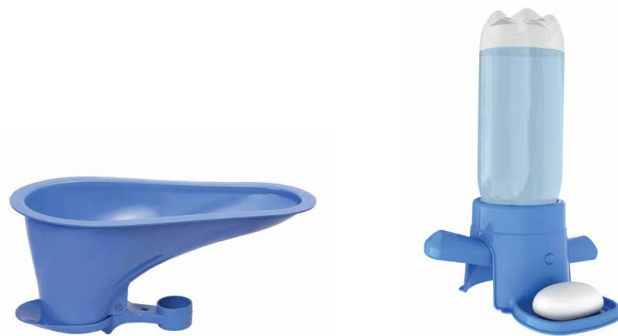
世界中にトイレと手洗いを

企画内容

ユニセフとのパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」を通じて、日本国内の対象商品を1台ご購入につき1ドルの寄付を実施。
トイレや手洗い習慣を促進するグローバルな衛生環境の改善に貢献します。

寄付金の用途

- 途上国における安全で衛生的なトイレ・手洗いの設置
- トイレの設置に必要な職業訓練
- 衛生環境の重要性に関する理解促進



数字で見る寄付金の用途例

20～25ドル：

一家に1台トイレを設置 / 学校に石鹸100個を配布



50～55ドル：

17人の生徒に正しい衛生習慣を教育



90～100ドル：

3人の女子生徒が衛生的なトイレを使用可能に



期間

2022年10月～12月

対象商品

- シャワートイレ一体型
- キャビネット付トイレ
- 住宅向け壁掛便器
- キッチン用タッチレス水栓ナビッシュ



詳細情報はこちら

LIXIL × NEXT STAGE ウェブサイト

<https://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/>

LIXIL
×
SDGs
NEXT STAGE



詳しくは、「みんなにキレイをプロジェクト」ホームページへアクセスしてください。

本キャンペーンによって、日本国内で対象商品をご購入いただき、ご自宅の住環境がキレイになるだけでなく、発展途上国で安全で衛生的＝“キレイ”な環境改善に貢献することが可能です。

SDGsの目標17「パートナーシップを通じて目標を達成する」をみんなで実践し、衛生課題の解決に取り組みましょう！

MAKE A
SPLASH!

LIXIL
SUPPORTS
unicef

ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1

www.lixil.com/jp